

## ○ 大都市圏の成長を通じた日本の再生

### (4) 魅力あるまちづくりの推進

(内閣府・文部科学省・経済産業省・国土交通省)

#### 【本市の提案・要望】

(うめきた2期区域)

- うめきた2期区域における基盤整備事業を着実に進めるための財源措置
- 新産業創出機能の実現に向けた研究開発プロジェクトへの国の財政支援や推進活動への支援及び国のイノベーション支援機関の関西における機能拡充

#### 【現状・課題】

(基盤整備事業の促進)

- うめきた地区では、国際競争力を高め、世界の都市をリードするまちづくりを実現するため、JR東海道線支線の地下化や関西国際空港と直結する新駅設置、土地区画整理事業、防災機能を有する都市公園整備といった基盤整備を実施しており、令和5年2月には地下化切替が完了し、3月には新駅が開業したところであるが、令和6年夏頃の一部先行まちびらき及び令和8年度末の基盤整備完成をめざし、引き続き防災公園街区整備事業に係る財源の確保が必要である。

(新産業創出機能の実現)

- また、うめきた2期開発のまちづくりの目標である「みどりとイノベーションの融合拠点」の実現に向け、イノベーション創出を推進するための中心的な役割を担う官民連携組織として、経済界や行政、民間開発事業者が参画する「一般社団法人うめきた未来イノベーション機構(U-FINO)」が令和4年9月に設立され、新産業創出機能の実現に向けた活動が進められており、活動への国の支援や先駆けて取り組む研究開発プロジェクトなどへの財政支援が必要である。
- 令和6年にはイノベーション関連施設の完成を予定しており、関西でのイノベーション創出拠点形成に向けて、研究開発から事業化に至るまでの支援措置を総合的に活用できる仕組みを構築するため、関西に設置されている国のイノベーション支援機関の支部等にも、研究資金を配分するファンディング機能を付与するなどの機能拡充が必要である。

担当：大阪都市計画局・建設局・都市整備局・経済戦略局

## ○基盤整備事業の促進



### <うめきた2期の主なスケジュール>

#### 【経過】

- 平成 27 年 3 月 「まちづくりの方針」決定
- 平成 30 年 7 月 民間開発事業者決定
- 令和 4 年 9 月 U-FINO 設立
- 令和 5 年 2 月 地下化切換
- 令和 5 年 3 月 新駅開業

#### 【今後の予定】

- 令和 6 年夏頃
  - 一部先行まちびらき
  - 主なイノベーション関連施設の完成 (予定)

( 令和 7 年 大阪・関西万博 開催 )

- 令和 8 年度末 基盤整備の全体完成
- 令和 9 年度 全体まちびらき

## ○新産業創出機能の実現



イノベーション創出のテーマ：ライフデザイン・イノベーション

- ・超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータ等の活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出
- ・「みどり」空間を通じて、来街者が参加・体験し、楽しみながら商品開発や評価に参加できる、世界で唯一のフィールドを実現

**U-FINOの役割**

- ・官民一体で、新技術を持つ研究者や事業者などの多様な人材を繋げ、プロジェクト創出などをコーディネートする世話役としての役割を担う

**国のイノベーション支援機関のうち、次の関西拠点がうめきた先行開発区域に立地**

- ・ J S T (科学技術振興機構)
- ・ N E D O (新エネルギー・産業技術総合開発機構)
- ・ P M D A (医薬品医療機器総合機構)
- ・ I N P I T (工業所有権情報・研修館)

資料：うめきた2期開発事業者の提案内容を本市が編集